

スピーカーアキュライザーの導入(13) ー接続方法の変更(2)ー

1. 始めに

前報(11)では、スピーカーアキュライザーSPA-7の接続方法を変更しましたが、さらにバナナプラグを購入してSPA-7の出力側の変更を実施します。

2. スピーカーアキュライザーSPA-7の試聴方法

スピーカーアキュライザーSPA-7の設定条件は前報(2)に述べたとおりとしますが、ケーブルの接続方法を替えてみます。今回の接続方法の変更は、音質改善というよりは、以後のSPA-7の接続方法の変更をより簡便に行うためのものです。

前報(11)では、SPA-7では入力側のバナナプラグで交換しました。出力側は現在使用しているバイワイアリングの分岐用のバナナプラグは差し込みできませんでした。また、オーディオ仲間からいただいたものはバイワイアリングの2本の線が入りませんので、今までどおりバイワイアリングの分岐用プラグを使用し、分岐前の1本線をいただいたものに使用してSPA-7の出力端子に差し込んでいます。



今回、出力側に差し込み可能でバイワイアリングの2本の線が入るものをオーディオ仲間から教えていただき、直接バイワイアリングの2本の線をバナナプラグでSPA-7に接続することにしました。写真では見にくいですが、バナナプラグには2本のスピーカーリベラメンテが接続されています。

さらにマイナス側のバナナプラグの写真の矢印部分に電磁波吸収テープ NRF-005Tを巻いてみます。



3. スピーカーアキュライザーSPA-7の試聴結果

バイアワイリングのスピーカーケーブルの接続をバナナプラグに交換することでの音質変化は期待できないと思いながらも、念のため STAGE+の再生でチェックしておくことにします。

リサ・パティアシュベリ他のシューベルトの「鱒」は、これまでから音質が顕著に変わったという印象はありませんが、弦楽器の擦弦音やコントラバスのピチカートの弾み具合や、環境ノイズが少しばかりリアルになった印象です。

マウリチオ・ポリリーニのベートーヴェンの後期ピアノソナタは、これまでから音質が顕著に変わったという印象はありませんが、打鍵の後の余韻や共鳴弦の音が若干分かりやすくなっています。

ジョン・エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイストのバッハのクリスマスオラトリオは、これまでから音質が顕著に変わったという印象はありませんが、空間に残る間接音が分かりやすくなっています。

4. まとめ

スピーカーケーブルの出力端子のねじ止めからバナナプラグに交換しました。これにより、音質的には大きな変化はありませんが、以後の配線替えの作業性が向上します。

以上